

としょかんがすすめる なつやすみの本 (ようじむき)

『せんろはつづく』

竹下 文子／文 鈴木 まもる／絵 金の星社
(Eス・セ)

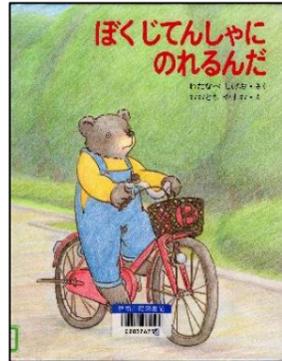
せんろをどンドンつなげて
いくよ! でも、どちゅうに、山や
川や大きな池があるよ。どうし
たらいいのかな?
良い方法を考え出しながら、
上手くせんろをつなげて
いくお話です。



『ぼくじてんしゃにのれるんだ』

わたなべ しげお／さく おおとも やすお／え

あかね書房 (Eオ・ボ)
おたんじょうびに自転車を
か買ってもらった、くまたくん。
楽しく自転車で乗っていた
のですが、友だちに「補助輪
がついている」といわれて、
おとうさんに補助輪をはずし
てもらうことにします。



『まほうのコップ』

藤田 千枝／原案 川島 敏生／写真
長谷川 摂子／文 福音館書店 (Eマ・カ)

みずが入っているふつうのコップ。
でも、これは「まほうのコップ」で
す。コップのうしろに、いちごやフォ
ークなどをおいて見ると、とっ
ても、おもしろく見えます!



『とうもろこし』

寺越 慶司／絵 フレーベル館 (Eテ・ト)

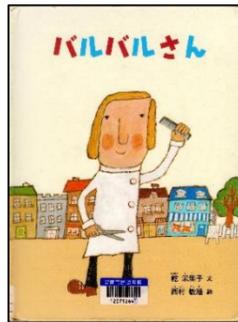
背の高いきの途中にもじゃ
もじゃしたひげがある、とうもろ
こし。とうもろこしの育ち方が詳
しくわかる本です。とうもろこし
を使って作る料理や、ボールペ
ンなども紹介されています。



『バルバルさん』

乾 栄里子／文 西村 敏雄／絵 福音館書店
(Eニ・バ)

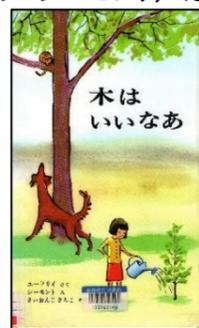
とこやのバルバルさんが お店
をあける準備をしていたら、ライ
オンが入ってきました。バルバル
さんは、ライオンのたてがみをきれ
いにしました。その後も、いろい
ろな動物のお客さんがやってきます。



『木はいいなあ』

ジャニス・メイ・ユードリイ／さく マーク・シーモント／え
偕成社 (Eサ・キ)

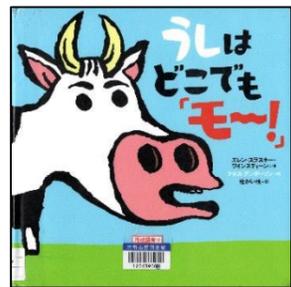
木があるのはいいなあ。木がある
といろんな遊びができるし、こかげ
で休むこともできる。小鳥は枝に巣
を作ってくらせるし…。木の良さをた
くさん伝えてくれる絵本です。



『うしはどこでも「モ〜!」』

エレン・スラスキー・ワインスティーン／作
ケネス・アンダーソン／絵 鈴木出版 (Eア・ウ)

日本の犬の鳴き声は「ワン
ワン」、イギリスは「バウバウ
バウバウ」、スペインは「グアウ
グアウ」だそうです。国によっ
て違いがありますね。でも、牛
の鳴き声はどこでも…。



『おおかみとセひきのこやぎ』

グリム／原作 フェリクス・ホフマン／え
福音館書店 (Eホ・オ)

むかしむかし、お母さんやぎ
とセひきのこやぎがくらしてい
ました。ある日、お母さんやぎ
は、森に行くことになり、こやぎ
たちにオオカミによく気をつけるように言い聞かせてか
ら、でかけていきました。すると…。



『あおくんときいろちゃん』

レオ・レオニ／作 至光社
(Eレ・ア)

あおくんときいろちゃんは、
とってもなかよし。
ある日、会えたときに、とっても
うれしかった二人は、まざりあっ
てみどり色になりました。そうしたら、おうちに帰ったときに
「うちの子じゃないよ」と言われてしまっ…。



『かぶとむしは どこ?』

松岡 達英／さく 福音館書店 (Eマ・カ)

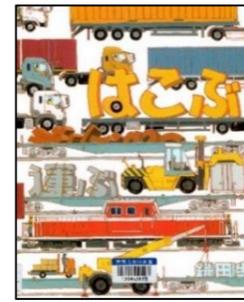
春、かぶとむしのこどもは、
つもった落ち葉の下にいます。
その後、土の中にもぐり、夏の
夜におとなになって地面の上
に出てきます。それから…。
かぶとむしの一生がよくわ
かる本です。



『はこぶ』

鎌田 歩／作・絵 教育画劇 (Eカ・ハ)

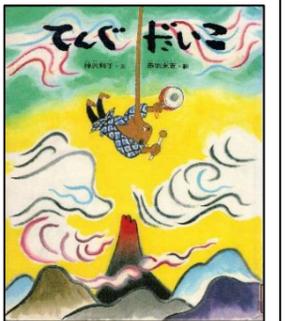
たくさんの荷物を運ぶには、どう
したらいいのでしょうか?
入れ物に入れたり、いろいろな
車を使ったりして物を運んでいる
様子がたくさん描かれている本で
す。昔の運び方や、とても遠い所
まで運ぶ方法も描かれています。



『てんぐだいこ』

神沢 利子／文 赤羽 末吉／絵 偕成社 (Eア・テ)

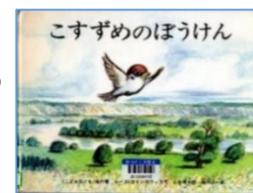
むかしむかし、げんごろうさ
んという人が、ふしぎなたいこ
をひろいました。「鼻、たかくな
れ〜」とたいこをたたくと、鼻が
どんどのびていきます。げん
ごろうさんは、そのたいこをもっ
て旅に出ました。



『こすずめのぼうけん』

ルース・エインズワース／作 堀内 誠一／画
福音館書店 (Eホ・コ)

お母さんに飛び方を教わり始め
た、こすずめ。「今日はおしまい」
と言われたのに、飛ぶのをやめず、
一人で飛び続けてしまいます。そのうち、こすずめは休み
たくなりますが、休める場所が見つかりません…。



『ながれぼし』

武田 康男／監修・写真 小杉 みのり／構成・文
岩崎書店 (Eタ・ナ)

空をすべるみたいに、すーっと
ながれて、すぐに消えてしまう、な
がれぼし。美しい写真とともに、
ながれぼしについて、いろいろな
ことを教えてくれます。



1日1章ずつ
よむのも
いいにやご♪



絵が主役の「絵本」から、字の多い「物語」の世界への橋渡しに…。

「幼年童話の読み聞かせ」を楽しんでみませんか。

『たんたのたんけん』

中川 李枝子／さく 山脇 百合子／え
学研 (913ナ・タ)

たんたの5さいのたんじょう
びに、ふしぎな地図が届きました。
たんたは、この地図をもって
たんけんに行くことにしました。



『ロボット・カミイ』

古田 足日／さく 堀内 誠一／え
福音館書店 (913フ・ロ)

たけしとようこはダンボールで
ロボットを作りました。ところが、
できあがったロボットは、いばっ
たり、わがままを言ってきます。

